学校教育目標
心ゆたかな子
考える子
たくましい子

川越市立広谷小学校　学校だより

笑顔かがやく　活力あふれる広谷小

令和５年１月１０（火）

春へ向けて　もっと高く

校長　浅見　久江

新春を迎え、保護者、地域の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今日から第３学期が始まりました。久しぶりに子供たちの元気な声、笑顔が校舎に戻り、うれしく思います。

この寒さの中、校庭の桜の枝先には、すでに小さな蕾の膨らみがありました。厳しい寒さに負けない強さとたくましさとともに、春への希望を感じます。

今年は卯年ですが、正確に干支を表すと「癸卯（みずのと・う）」といいます。「癸」は、物事や生命の終わりと始まりを意味するほかに、種子が計ることができるほどの大きさに成長するという意味を表しています。「卯」は本来、「茂」という字で、草木が地面をおおうようになった状態を指し、春の訪れを感じるという意味があります。また、「卯」の字の形から、門を押しあけて飛び出るという意味があると言われています。この二つの文字を組み合わせた「癸卯」は、「成長や飛躍のためにこれまで努力し育んできたことが実り始める」という縁起のよい意味を表しています。

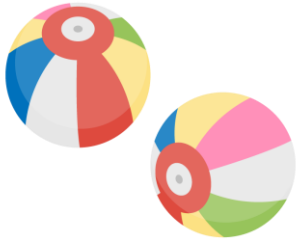
３学期は、次年度への０学期とも言います。子供たちがこれまで努力し、育んできたことが、新年度へとつながっていく実り多い３学期になるよう、教職員一同力を合わせ取り組んでまいります。本年も保護者、地域の皆様の変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

５年生の国語の教科書に、「紙風船」という詩がのっています。新年を迎えた気持ちに合っている詩なので、始業式で紹介しました。

子供たちは１、２学期に「なりたい自分」を目指して、様々なことに一生懸命取り組み成長しました。３学期は、「なりたい自分」を目指して、さらに目標を高く持ち、粘り強く取り組んで力を伸ばすことを期待しています。６年生は小学校卒業という大きな節目に向けて、５年生は最上級生、１年生から４年生は上の学年への進級に向けて、令和５年度４月の自分の姿をイメージしながら、「もっと高く、もっともっと高く」という気持ちを持って、「何度でも」挑戦してほしいと思います。ご家庭と学校で連携・協力して子供たちの成長を支えていきましょう。

紙風船

黒田　三郎

落ちてきたら
今度は
もっと高く
もっともっと高く
何度でも
打ち上げよう
美しい
願いごとのように